岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　一級河川　太田川水系　東福田４支外　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　ダム・溜池

ボーリング名	東福田6支隣Bor.1	調査位置	東福田6支隣　NO.0-0.5m　R-42.8m	北緯	34° 26' 40.6174"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年 1月19日～ 令和3年 1月21日	東経	132° 32' 39.2803"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 183.56m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	6.00m	地盤勾配	36° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：D-0B（東邦地下工機） エンジン：NFAD8（ヤンマー）　ポンプ：BG-3B（東邦地下工機）

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD (%)	記事
	183.26	0.30		細砂	暗褐	w5	h4	E	VI	d	D		砂は細砂が主体。 腐植土を混入する。
1	181.66	1.90		風化花崗岩	褐	w4	h1	D	VI	d	DL		（中粒黒雲母花崗岩） 造岩鉱物の殆どは風化し、コアは指圧で容易に潰れ細粒状となる。 DL級岩盤に区分出来る。
2	180.56	3.00		風化花崗岩	褐	w4	h1	D	VI	d	DM		コアは土棒状で採取できるが岩芯まで風化進行し、コアは指圧で砕け砂状となる。 DM級岩盤に区分出来る。
3	177.56	6.00		風化花崗岩	褐	w4	h1	D	VI	d	DH		コアは土棒状で採取できるが岩芯まで風化が進行する。コアは指圧で砕け、粗砂状となる。 GL-5.7m付近から一部礫状で採取できる。 DH級岩盤に区分出来る。
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
45	1.15	45		
	1.45	300		
50以上	2.00	50	80	
	2.08	80		
50以上	3.00	50	50	
	3.05	50		
50以上	4.00	50	40	
	4.04	40		
50以上	5.00	50	40	
	5.04	40		
50以上	6.00	50	10	
	6.01	10		

孔内水位／測定月日

原位置試験

室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
1/23	300	66 ケーシング	シングル/NC	300	50	0	W1 0	0
	300		ダブル/NC	200	50	3	W3 20	20
	200		ダブル/DC	200	150	4	W3 10	9
	400		ダブル/DC	200	150	4	W3 10	9
	300		ダブル/DC	200	150	4	W3 10	9
	240		ダブル/DC	200	150	4	W3 10	9
	240		ダブル/DC	250	150	4	W3 10	9